

講義名	日本経済論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	上瀧 真生		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	25040

### 主題と概要

現在、日本経済は転換点に立っている。グローバルな経済発展のなかで、日本経済がどのように進むべきかが問われている。この講義では、前半で働く人々の状態という見地から日本経済の現状を考察し、後半で第二次世界大戦後、日本経済が歩んできた道程を考察する。これらをもとに、今後の日本経済のあり方を受講生とともに考えたい。

### 到達目標

今日の働く人々の状態を日本経済の現状との関係で理解し、自分なりの考えをもつこと。  
第二次世界大戦後の日本経済の歩みについて理解し、自分なりの考えをもつこと。  
以上を踏まえて、今後の日本経済のあり方について考えること。

### 提出課題

毎回の講義で復習クイズを課す。  
また、中間レポート試験、および期末レポート試験を課す。

### 評価の基準

各回の講義で行うクイズ、中間レポート試験、および期末レポート試験の総合評価（単純合計）による。これらを通じて、三つの到達目標についての到達度を測る。

講義時のクイズ 2点×15回 = 30点満点  
中間レポート試験 最高40点  
期末レポート試験 最高40点

### 履修にあたっての注意・助言他

できるだけ身近な問題と関連づけながら講義するつもりであるが、受講生も新聞や雑誌などの関連記事に目を通して、今日の日本経済をめぐる問題を知る努力をしてほしい。

なお、以下のとおり、受講ルールを定める。

- (1) 授業開始後15分を経過したのちは入室を認めない。
- (2) 座席については教員の指示に従う。
- (3) 私語厳禁。目にあまる場合は退室してもらう。
- (4) 携帯電話などの電源は切る。

### 教科書

教科書は使用しない。

### プリント資料及び参考文献

毎回、プリント資料を配付する。

### 授業計画

01. はじめに / 現在の日本経済を考えるために
02. 働く人々の状態からみた日本経済 雇用をめくって(1)
03. 働く人々の状態からみた日本経済 雇用をめくって(2) / 賃金をめくって(1)
04. 働く人々の状態からみた日本経済 賃金をめくって(2)
05. 働く人々の状態からみた日本経済 労働時間をめくって
06. 働く人々の状態からみた日本経済 男女の働き方をめくって
07. 日本経済の歩み 戦後日本経済の歩みと私たちの人生 / 戦後復興(1)
08. 日本経済の歩み 戦後復興(2) / 高度経済成長(1)
09. 日本経済の歩み 高度経済成長(2)
10. 日本経済の歩み 高度経済成長(3)
11. 日本経済の歩み 安定成長と貿易摩擦(1)
12. 日本経済の歩み 安定成長と貿易摩擦(2) / バブルとバブル崩壊(1)
13. 日本経済の歩み バブルとバブル崩壊(2)
14. 日本経済の歩み グローバリゼーションと構造改革(1)
15. 日本経済の歩み グローバリゼーションと構造改革(2)

### 予習・復習

毎回の復習 20時間  
中間レポート試験の準備 20時間  
期末レポート試験の準備 20時間

### 備考